

産 学 官

2026 年 1 月

一般財団法人丸文財団 産学官交流助成 候補者推薦要領 第 30 回（令和 8 年度）

1. 趣 旨

産業技術分野ならびにその関連分野における国内外の若手研究者の研究交流活動を支援助成することを目的とし、国内の大学及び公的研究機関の若手研究者が、他機関（企業を含む）と連携して行う研究（修学を含む）の研究費、旅費等を助成するものです。

2. 対 象 技 術 分 野

原則として以下のエレクトロニクス関連分野を助成対象とします。

- ① 集積エレクトロニクス及び情報システム応用
- ② 光エレクトロニクス
- ③ 先端材料・デバイス及びシステム
- ④ エネルギー・環境エレクトロニクス
- ⑤ バイオ・医用エレクトロニクス

3. 助成候補者資格

上記の対象技術分野に従事する研究者および大学院生（国籍は問わない）で、以下の条件を満たす方

- 1) 2027 年 3 月 31 日現在で、35 歳以下の方
(ただし、特別な理由がある場合は 40 歳以下でも可)
- 2) 本助成により、連携交流研究で顕著な研究成果が期待される方

4. 助 成 内 容

令和 8 年度予算成立が前提となっています。

- 1) 助 成 総 額: 未定
- 2) 採 択 件 数: 未定
- 3) 助成対象期間: 原則として、2026 年 4 月から 1 年間

5. 推 薦 手 続

(1) 推 薦 者:

- ① 連携交流研究を推進する当該大学院生および連携交流研究者の受入責任者
- ② 公的研究所等においては研究室長、研究部長またはこれに準ずる方

(2) 推薦限度件数:

推薦者 1名につき、推薦数は 2 件以内

(3) 推 薦 方 法:

「産学官交流助成候補者推薦書」を事務局あてに提出

6. 推 薦 依 賴 期 間

原則として支援開始 2 ヶ月前まで

7. 選 考 方 法

選考委員会で選考し、理事長が決定します。

選考委員長: 天野 浩 (名古屋大学未来材料・システム研究所未来エレクトロニクス
集積研究センター長・教授)

副委員長: 内田 建 (東京大学大学院工学系研究科教授)

副委員長: 森 勇介 (大阪大学大学院工学研究科教授)

8. 結果の通知および助成金交付

(1) 結果の通知: 実施の約1ヶ月前まで(推薦者あて)

(2) 助成金の交付: 随時

9. 成 果 報 告

助成期間を経過した時点で、所定の成果報告書を当財団に提出

10. 推薦書等の送付先および連絡先

東京都中央区日本橋大伝馬町 8 番 1 号 丸文ダイヤビル 8 階 (〒103-0011)

一般財団法人丸文財団

専務理事・事務局長 村越 義修

電話: 03-3661-1881

FAX: 03-3808-2959

URL: <https://www.marubun-zaidan.jp/>

産 学 官

産学官交流助成候補者推薦書

第30回（令和8年度）

西暦 年 月 日

一般財団法人丸文財団 御中

推 薦 者

役職・氏名 _____ 印 _____

候補者との関係 _____

所 属 機 関 名 _____

所 在 地 〒 _____

TEL _____ FAX _____ E-mail _____

下記の者を貴財団の産学官交流助成候補者として推薦いたします。

ふりがな

ローマ字

氏 名 _____ (_____)

生年月日 _____ 年 月 日 生 (_____ 歳) 国籍 _____ 男 女

所属機関・学校名 _____

身分 _____ 所属又は在籍大学院指導責任者名 _____

連携先の指導責任者名 _____

所属機関所在地 〒 _____

TEL _____ FAX _____ E-mail _____

自宅住所 〒 _____

(国内の現住所)

(連絡先) TEL _____ FAX _____

1 略歴 (学歴・職歴・学位取得又は取得見込時期)

2 研究題目

3 連携交流の目的及び研究等の内容（進捗状況と今後の計画）

（紙面不足の場合は、別紙を添付してください）

4 研究者としての力量と推薦理由

**5 助成期間内（2026年4月1日～2027年3月31日）における連携先研究機関等での滞在研究期間、
主に利用する交通機関及び希望助成金額**

（1）滞在研究期間 西暦 _____年 _____月～_____年 _____月まで 通算 _____ヶ月

（2）主な交通機関 _____ 概算費用 _____ 円

（3）希望助成金額 _____ 万円

6 他の助成金の取得・申請の状況（既に取得している助成金および申請中のもの等）